

勸善
懲悪

讀切講譯

東海道小其名さく御音く
駈路の鈴が赤角前がもの
手の内い通と咲は花川戸
彼の長兵五が食客さる
九井筒の紋所羽二重
さとの浪人のソと知して
權八が廓通ひの闇まざれ
合手誰と見て白及さる
ためは一重切り恋慕涙のひと
節を世子云くんやせし

身の果ハ色情と
邪心の毘翼つら
其谷波瀾の二盛りを
天鏡いぞ照らまへど
早く滅せし物語あふ
戒しめ記せぬ人

花源堂



平井権八

新谷伝
花源堂

新谷伝
花源堂

ガリ九一

勸善懲悪 讀切講訳 文庫10-8311-9

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

